

## 保健体育科学習指導案

日 時 令和6年2月2日(金)  
 第5校時 13:10~14:00  
 対 象 第2学年男子  
 1, 2, 3組 61名  
 場 所 本校グラウンド  
 (雨天時:本校体育館)  
 授業者 教諭・澤田 繁

### 1 単元名

陸上競技(長距離走)(全7時間中の6時間目)

### 2 本時

#### (1) 本時のねらい

- ① Forms 記入を通じて、自らができていることについて「できた」の体感を実感する。また、自らの課題を発見し、自分の言葉で書かせることで「わかる」ということを意識する。さらに「わかる」⇔「できる」の PDCA サイクルを習得し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】
- ② 持久走の授業において前時の授業でうまくできたことや課題について Forms で確認し、自主的に取り組もうとすることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】

#### (2) 本時の展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 10分	○集合・整列・挨拶  ○出欠確認  ○前時の振り返り ・前時までに回答したフォームの入力内容を確認する。  ○本時の学習内容を確認	・各クラスの体育委員が中心となり、集合、整列させるよう指示する。 ・出欠確認を行う際、生徒の表情や様子などを健康状態の確認をする。 ・Forms に記入をした「次回の課題」を本時の目標にするよう指示する。 ※評価規準を説明する。  ・時間走を行う上での注意点や走行時の呼吸、フォームについて自ら意識して取り組めるように指導する。	②主体的に学習に取り組む態度 前時にうまくできたことや課題について Forms で確認し、自主的に取り組もうとしている。(観察)
展開 30分	○記録の入力、本時の振り返り ・時間走の周数と活動内容について振り返りながら、Forms で振り返りフォームに回答する。 ○体調確認、挨拶	・前回よりも周回数を増やす、維持のできる声掛けする。 ・走行フォームやペースについて、それぞれの生徒に合った言葉掛けをする。	

まとめ 10分		・自身の活動を振り返り、自らができていることを自分の言葉で書くように指導する。また、自らの課題と次回の具体の目標を明確に記入するよう促す。	①思考・判断・表現 自らができていること、課題について自分の言葉で書いている。(観察・Forms)
------------	--	---	--

(3) 学習活動における具体的な姿

	A	B	C (支援の手立て)
① 思 判 表	Forms 記入において、目標達成の程度を具体的に記入している。また、その達成の程度に応じた次の授業の課題設定を明確に行い、具体例を挙げて記入ができている。	Forms 記入において「本時の感想」や「次回の課題」について、自分の言葉で記入している。	※記入していない生徒には、個別に何ができていないか、何に気を付けて次回走ろうと思っているかを自分の言葉で言わせて、入力させる。
② 主 態 度	授業の冒頭に ICT を用いて前時までに入力した自身の課題を確認し、本時の目標を言葉にして読み上げたり、周囲の仲間に公言したりしている。	授業の冒頭に ICT を用いて前時までに入力した自身の課題を読んでいる。	※ICT を持っていない生徒には、周囲の仲間に読み上げてもらう等の支援を受けるように声をかける